

日本機械学会2010年度年次大会と一般開放特別企画のご案内

2010/9/5~
2010/9/8

名古屋工業大学

2010年8月26日
社団法人 日本機械学会

社団法人 日本機械学会は、9月5日(日)から8日(水)にかけて、名古屋工業大学を会場として「2010年度年次大会」を開催いたします。大会の中心テーマとして、(1) マイクロ・ナノ工学 機械工学におけるマイクロ・ナノ技術(2) 安全・安心を支える機械工学 人間を取り巻く機械技術と人間との調和(3) エコロジーパラダイムシフト 地球規模でエコロジーにシフトする技術、製品・生産戦略の新展開の3つを掲げ、機械工学全般に関する約1400件の学術講演とともに様々な特別プログラムを開催いたします。一般の方々を対象とした参加無料の一般開放特別企画も多数用意しております。下記に一般開放特別企画の概要を記載しましたので、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

※詳細はHPよりご確認下さい。http://www.jsme.or.jp/2010am/

※マスコミの方は総合受付へ、一般の参加者の方はそれぞれの会場へ直接お越し下さい。

【特別講演】

会場:名古屋工業大学51号館(大会 No.第00室)

参加費無料:当日直接お越し下さい

1. 7日 15:15~16:15「MRJを世界の空へ(MRJの技術と産業的意義)」

講師:戸田信雄氏(三菱航空機株式会社 副会長)

2. 7日 16:15~17:15「名古屋城本丸御殿の・ひ・み・つ」

講師:麓 和善氏(名古屋工業大学 教授)

【市民フォーラム】 身近な話題をテーマとした一般市民向けの公開企画です。

1. 5日(日)13:00~14:30、「流れのふしぎ科学教室」 会場:名古屋工業大学15号館ものづくりテクノセンター

参加費無料:当日直接お越し下さい

空気や水の流れにはあっと驚くような現象がたくさんあります。実験を通じてそれらの性質を知りましょう。飛行機はなぜ空を飛べるのでしょうか? 野球の変化球のしくみやサッカーの無回転シュートなどの秘密も空気の流れが関係しています。①小中学生を対象とした「楽しい流れの実験教室」と②教員向けの「教員と科学ボランティアのための研修会」を行います。流体力学の関係する実験が科学書やTVでしばしば間違っして解説されていますので、正しい原理をお伝えします。参考:「楽しい流れの実験教室」実験画像公開中 <http://www.jsme-fed.org/experiment/index.html>

2. 5日(日)13:00~15:00、「原子力発電所の運転中保全」

会場:名古屋工業大学2号館3階 0232 教室(大会 No.第31室)

参加費無料:当日直接お越し下さい

日本はエネルギーのほとんどを輸入に頼っており、安定で大量の電力を供給でき、二酸化炭素も出さない原子力発電所の、一層の充実が期待されています。より安全を高め、かつ、より多くの電力を得るために、運転中に機器のメンテナンスを行う運転中保全が世界各国で導入されています。日本でも、運転中保全の導入が検討されていますが、どのようなメリットがあり、またどのような課題があるのかを考えてみたいと思います。

3. 5日(日)13:30~16:00、「食の安全・安心に係わる機械技術」

会場:名古屋工業大学2号館3階 0231 教室(大会 No.第30室)

参加費無料:当日直接お越し下さい

安全・安心な食品、健康の保持・増進に役立つ食品(農畜産物)に関する情報はとて多くなっていますが、一方では農畜産物がどのように生産・管理されているのか、消費者からは見えにくくなってきています。本フォーラムでは、馴染みのある食品の一つとしてミルク(牛乳)や乳製品を取り上げ、ミルクが牧場で搾乳されてから家庭に届くまで、どのように安全が配慮されて製品化されているか等について、それぞれの第一人者に講演いただきます。

4. 5日(日)13:00~16:15,「生き生き自立生活! ~機械工学が導く福祉社会の未来~」

会場:名古屋工業大学2号館1階 0211 教室(大会 No.第 25 室)

参加費無料:当日直接お越し下さい

近年の少子・高齢化社会への移行に伴い、福祉医療分野での省力化・自動化の必要性が年々高まっています。福祉医療・介護機器の開発には機械工学分野からのアプローチだけではなく、医療分野や行政・地域社会といった社会全体での取り組みが必要になります。本企画は福祉医療・介護機器を最前線で研究・開発する研究者に最新の研究状況や使用する側の対応や今後の展開などをご講演いただくとともに、パネルディスカッションにより地域の市民の方とともに問題を考える企画です。講師は山口亨氏(首都大学東京)、矢野賢一氏(三重大学)、渡辺崇史氏(日本福祉大学)、中澤公孝氏(東京大学)です。パネルディスカッションの司会は、長谷和徳氏(首都大学東京)です。

5. 5日(日)~ 8日(水)9:00~17:00,「機械遺産パネル展示」

会場:名古屋工業大学 52 号館 5211 教室

参加費無料:当日直接お越し下さい

日本機械学会は、近代から現在にわたり、日本を発展させ、国民の生活と文化の向上に貢献した画期的技術を「機械遺産」に認定しています。2007 年から現在まで 43 件を認定しました。その全てをパネル展示で紹介いたします。

6. 5日(日)13:30~16:00,「技術者におけるリスクマネジメント」

会場:名古屋工業大学2号館2階 0222 教室(大会 No.第 28 室)

参加費無料:当日直接お越し下さい

技術に関わる事故・不祥事は、注意不足等による技術者の能力に起因するもの、不適当な情報により境界の線引きを誤るもの、技術的問題は判っているが組織のリスク判断逸脱等の様々あるが、いずれも技術者の関わりが大きい。そこで、「事故と技術者の責任」と題して、中村昌允教授(農工大)に、「技術者倫理の社会的背景」と題して、藤本温准教授(名工大)にお話をいただきます。

7. 5日(日)15:00~17:00,「もの作りを通した『学び』の提案」

会場:名古屋工業大学2号館2階 0223 教室(大会 No.第 29 室)

参加費無料:当日直接お越し下さい

設計は高校の数学や物理で行い、工具と材料の全てをホームセンターで購入し、手作りした機械がお湯の熱で動きます。これは、温めるだけで動力を発生させるスターリングエンジンという機械の一種です。部数限定で、製作と設計の方法を記述した文書を配布します。会場では原理と歴史の説明、動作実演、製作の概要説明、製作作業の一部実演を予定しています。

【特別企画】

1. 6日(月)10:00~16:30,「日本機械学会 JABEE の審査委員研修フォーラム」

会場:名古屋工業大学53号館1階 5214 教室(大会 No.第 02 室)

事前申込必要:日本機械学会事務局 関根あて sekine@jsme.or.jp Tel:03-5360-3506

本講習会は JABEE が用意した共通資料に基づき説明を行いません。正式に審査員として登録されるためには、本講習会修了後、JABEE 審査候補者として登録され、オブザーバとして実際に審査を経験していただくことが必要です。主に質疑・応答の時間帯で、最近の JABEE の動き、これからの認定のあり方の方向性についての紹介も行うことを予定しております。既認定教育機関の方、これから JABEE 認定をお考えの教育機関の方にも有益かと存じます。詳細は HP をご覧下さい。<http://www.jsme.or.jp/jabee/2010forum.htm>

2. 6日(月)13:30~16:00,「世界で活躍する若手研究者の育成に向けた大学院博士課程教育」

会場:名古屋工業大学12号館2階 1221 教室(大会 No.第 37 室)

参加費無料:当日直接お越し下さい

グローバル化した環境の中で、健康・快適、安全・安心な生活を保証し、活力を維持した持続的社會を創っていくには、世界の中でイノベーションを先導する人材の育成が欠かせません。国際的に卓越した教育研究拠点の形成を目的とした東北大、東大、名大、阪大、慶大、早大、東工大における大学院博士課程教育についての取り組み事例を紹介いたします。

【本件に関する問い合わせ先】 社団法人 日本機械学会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階

会員・情報管理グループ 高杉史靖 E-mail: takasugi@jsme.or.jp

電話: (03) 5360-3503 FAX: (03) 5360-3508